

ワラビ採集会・ご飯の会 (3・4年生) 一人で50本以上!?

4/16日(火)、「ワラビ採集会」が行われました。以前は、全校行事として、1～6年生までの児童が全員でワラビ採集を行いましたが、児童数が急増してきたため、一昨年度からは、3、4年生(中学年)の行事として、引き続き実施されることになりました。3、4年生56名が、小林さん(夕七・史奈)の山や畑で、ワラビ採りを楽しみ、その後、3、4年生全員であく抜き作業をしました。この採集会は、当初1週間前に予定されていましたが、4月初旬はやや寒い日が続き、下見の段階で発育が遅れていたため、1週間延期されました。天候に恵まれ、1週間待った甲斐があり、一人10本前後の収穫がありました。50本以上も採れた人もいたようです。お疲れ様でした!



翌日、4年生担任の矢藤大基先生、鈴木康平先生の指導を受け、4年生全員で協力して調理しました。2人の先生に調理の仕方を教わりながら、ワラビに油揚げ、ニンジン、タケノコ、鳥肉などを加え、おいしく味付けをしました。その具を給食のご飯と混ぜて「ワラビご飯」の完成です。会食の会場を準備してくれた3年生と一緒に皆でいただきました。

なお、小林(龍平・史奈)さん、志賀(大和・桃音)さんのお家からもたくさんワラビを提供いただきました。ありがとうございました。

<注> 人間でもあくを抜いていないワラビを大量に食べると、出血症状になり死にいたるそうです。

自然薯植え付け (5・6年生)

4/19日(金)、5・6年生が自然薯の植え付け作業を行いました。当初、17日(水)に予定していましたが、あいにくの雨で延期になり、いよいよ植え付け日を迎えました。6年生が前日までに自然薯畑に穴を掘り、植え付けができる準備をしてくれました。

当日、野村康治さん(ご一家)のご指導の下、自然薯専用のパイプの中に赤土を入れました。ところが、今年は種芋の苗の育ちが遅く、この日は赤土の入ったパイプのみを1本1本でいねいに埋めました。この後、決められた場所に種芋を植え、そして、5・6年生全員で協力して育てていくことになります。この秋(11月)の収穫がとても楽しみです。これから育てていくにあたり、乾燥の害が一番ネックになりますので、水やりを含めてしっかりお世話をしてほしいと思います。また、ここ数年、サルによる被害が出ています。要注意ですね。

